

報告様式

＜報告の方法＞

減量化・資源化施策	報告の内容																		
1. ごみ等廃棄物を減らすための取り組み (1) 2R(リデュース(発生抑制)・リユース(再使用)の推進 【発生抑制(リデュース)の推進】																			
①市民一人ひとりのごみ減量化への行動を促す仕組みづくり	<p>取り組んだ内容について報告する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報ひこねで「ごみ減量・資源化トピックス」の連載した。 																		
②買い過ぎない・作り過ぎない・食べ残さないライフスタイルの推進	<p>取り組んだ内容について報告する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「チャレンジ THE ごみダイエット」と題したイベントで、「もったいない食品ロス」と題した展示コーナーを設け、啓発を実施した。 ・「ごみ減量・資源化トピックス」で食品ロスに関する記事を掲載した。(5月号) 																		
③マイバッグ・マイボトル・マイ箸・マイカップ持参の推進	<p>取り組んだ内容について報告する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「買い物ごみ減量推進フォーラムしが」に参画し、環境にやさしい買い物キャンペーンで啓発活動を実施した。 ・「ごみ減量・資源化トピックス」でマイバッグ持参の推進および持参率を掲載した。(11月号) <p>マイバックの持参率を指標とし、その推移を報告する。</p> <table border="1"> <tr> <td>マイバック持参率</td> <td>H23</td> <td>⇒</td> <td>H24</td> <td>⇒</td> <td>H25</td> </tr> <tr> <td></td> <td>—</td> <td></td> <td>50.8%</td> <td></td> <td>90.1%</td> </tr> </table> <p>※平成24年度については、レジ袋無料配布中止が開始された3月分のデータのみとなっている。</p>	マイバック持参率	H23	⇒	H24	⇒	H25		—		50.8%		90.1%						
マイバック持参率	H23	⇒	H24	⇒	H25														
	—		50.8%		90.1%														
④市民・市民団体・事業者の連携によるエコ包装の推進	<p>取り組んだ内容について報告する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施できていない。 																		
⑤地域への出前講座の充実	<p>出前講座の開催数および参加者数を指標とし、その推移を報告する。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H23</td> <td>⇒</td> <td>H24</td> <td>⇒</td> <td>H25</td> </tr> <tr> <td>開催数</td> <td>3回</td> <td></td> <td>8回</td> <td></td> <td>13回</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>100人</td> <td></td> <td>643人</td> <td></td> <td>960人</td> </tr> </table>		H23	⇒	H24	⇒	H25	開催数	3回		8回		13回	参加者数	100人		643人		960人
	H23	⇒	H24	⇒	H25														
開催数	3回		8回		13回														
参加者数	100人		643人		960人														
【再使用(リユース)の推進】																			
①エコマーケットなどのリユース情報の提供	<p>情報の提供回数を指標とし、その推移を報告する。</p> <table border="1"> <tr> <td>情報提供回数</td> <td>H23</td> <td>⇒</td> <td>H24</td> <td>⇒</td> <td>H25</td> </tr> <tr> <td></td> <td>19回</td> <td></td> <td>24回</td> <td></td> <td>22回</td> </tr> </table>	情報提供回数	H23	⇒	H24	⇒	H25		19回		24回		22回						
情報提供回数	H23	⇒	H24	⇒	H25														
	19回		24回		22回														
②リユース食器の普及推進	<p>取り組んだ内容について報告する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施できていない。 																		
③リターナブル瓶の普及推進	<p>取り組んだ内容について報告する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施できていない。 																		
(①) 事業系ごみの適正な排出推進																			
①紙類の混入防止の啓発・指導徹底	<p>取り組んだ内容について報告する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ごみ減量・資源化トピックス」で古紙類の出し方について掲載した。(9, 10月号) 																		
②汚れた容器包装プラスチックの混入防止の啓発・指導徹底	<p>取り組んだ内容について報告する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ごみ減量・資源化トピックス」で容器包装プラの分別、資源化について掲載した。(7, 8月号) 																		
③事業系食品リサイクルの促進	<p>取り組んだ内容について報告する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・彦根市事業系一般廃棄物減量化に関する指導要綱の策定に向けて取り組んだ。 <p>食品リサイクルを実施する事業所数を指標とし、その推移を報告する。</p> <table border="1"> <tr> <td>認定事業所数</td> <td>H23</td> <td>⇒</td> <td>H24</td> <td>⇒</td> <td>H25</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2件</td> <td></td> <td>2件</td> <td></td> <td>3件</td> </tr> </table>	認定事業所数	H23	⇒	H24	⇒	H25		2件		2件		3件						
認定事業所数	H23	⇒	H24	⇒	H25														
	2件		2件		3件														

減量化・資源化施策	報告の内容																		
(3) 事業者との連携を深める																			
①スーパー等店舗での古紙・衣類回収の推進	<p>取り組んだ内容について報告する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施できていない。 <p>スーパー等店舗での古紙等回収量を指標とし、その推移を報告する。</p> <table border="1"> <tr> <td>古紙回収量</td> <td>H23</td> <td>⇒</td> <td>H24</td> <td>⇒</td> <td>H25</td> </tr> <tr> <td></td> <td>243トン</td> <td></td> <td>563トン</td> <td></td> <td>626トン</td> </tr> </table> <p>※H23においては、7月からの9か月分</p>	古紙回収量	H23	⇒	H24	⇒	H25		243トン		563トン		626トン						
古紙回収量	H23	⇒	H24	⇒	H25														
	243トン		563トン		626トン														
②デポジット制度やレジ袋有料化の検討	<p>検討した内容および結果について報告する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントでのひこね井販売の際に、オリジナルどんぶりを使用し、デポジット制度を導入できないか検討するよう、商工課担当者と協議した。 ・「買い物ごみ減量フォーラムしが」に参画し、県内におけるスーパー等でのレジ袋有料化を検討し、平成25年4月1日から市内大手8事業所で有料化が開始された。(現在、9事業所) 																		
(4) 越境ごみ対策の強化																			
①搬入時の確認強化	<p>取り組んだ内容について報告する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業系ごみを家庭系ごみとして持ち込んだ場合や産業廃棄物を一般廃棄物と偽って持ち込んだ場合には、警察に連絡する旨の警告看板を設置した。 ・軽量所に監視カメラを設置した。(車両ナンバー、搬入物等の証拠確保) ・H26.4.1より「彦根市廃棄物の処理および清掃に関する条例施行規則」を改正し、不適正な搬入をする許可業者への規制を強化するため取り組んだ。 ・H26.4.1より彦根市一般廃棄物収集運搬業許可業者処分要領を策定し、違反内容、処分について明確化するため取り組んだ。 																		
②料金体系の見直し	<p>取り組んだ内容について報告する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H26.4.1より「彦根市廃棄物の処理および清掃に関する条例」を改正し、家庭から出る粗大ごみ手数料の改定に向けて取り組んだ。 																		
2. 再生利用率(リサイクル率)を上げるための取り組み																			
(1) 新たな回収区分の拡大による再生利用の推進																			
①各種リサイクルの推進	<p>取り組んだ内容について報告する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古紙・衣類の集団回収に対する奨励金を交付 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H23</td> <td>⇒</td> <td>H24</td> <td>⇒</td> <td>H25</td> </tr> <tr> <td>集団回収量</td> <td>3,051t</td> <td></td> <td>2,852t</td> <td></td> <td>2,753t</td> </tr> <tr> <td>交付額</td> <td>6,103千円</td> <td></td> <td>5,705千円</td> <td></td> <td>5,506千円</td> </tr> </table>		H23	⇒	H24	⇒	H25	集団回収量	3,051t		2,852t		2,753t	交付額	6,103千円		5,705千円		5,506千円
	H23	⇒	H24	⇒	H25														
集団回収量	3,051t		2,852t		2,753t														
交付額	6,103千円		5,705千円		5,506千円														
②新しい資源化技術の取り入れ検討	<p>検討した内容および結果について報告する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施できていない。 																		
③小型家電リサイクルの検討	<p>検討した結果について報告する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H26.4.1より小型家電のリサイクルを開始するため取り組んだ。 <p>実施する際は、小型家電からの資源化量を指標とし、その推移を報告する。</p> <table border="1"> <tr> <td>小型家電資源化量</td> <td>H23</td> <td>⇒</td> <td>H24</td> <td>⇒</td> <td>H25</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0トン</td> <td></td> <td>0トン</td> <td></td> <td>0トン</td> </tr> </table>	小型家電資源化量	H23	⇒	H24	⇒	H25		0トン		0トン		0トン						
小型家電資源化量	H23	⇒	H24	⇒	H25														
	0トン		0トン		0トン														
④雑がみや硬質プラスチック等のRPF化の検討	<p>検討した結果について報告する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・剪定枝等のRPF化を検討している。 <p>実施する際は、RPF化された雑がみや硬質プラスチック等の量を指標とし、その推移を報告する。</p> <table border="1"> <tr> <td>RPF化量</td> <td>H23</td> <td>⇒</td> <td>H24</td> <td>⇒</td> <td>H25</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0トン</td> <td></td> <td>0トン</td> <td></td> <td>0トン</td> </tr> </table>	RPF化量	H23	⇒	H24	⇒	H25		0トン		0トン		0トン						
RPF化量	H23	⇒	H24	⇒	H25														
	0トン		0トン		0トン														

減量化・資源化施策	報告の内容
3. 最終処分量を減らすための取り組み (1) 硬質プラスチックや陶器類の選別により、最終処分量を減らす	
① 埋立ごみの選別の検討	検討した結果について報告する。 ・現在、埋立ごみとして排出されている蛍光灯、電球など分別区分の変更を検討している。 ・1市4町での調整を進めている。 実施する際は、埋立ごみからの資源化量を指標とし、その推移を報告する。 資源化量 H23 ⇒ H24 ⇒ H25 0トン 0トン 0トン
4. 焼却量を減らすための取り組み (1) 「雑がみ」、「衣類」の資源化の推進	
① 資源化する雑がみ・衣類の周知方法や排出方法の検討	検討した結果について報告する。 ・「ごみ減量・資源化トピックス」で資源化する雑がみの出し方について掲載した。(9月号)
(2) 「生ごみ」の減量・資源化の推進	
① 生ごみ減量・資源化の取組方や事例の情報提供	情報の提供回数を指標とし、その推移を報告する。 ・「ごみ減量・資源化トピックス」で簡易生ごみ処理普及事業の委託団体募集に加え、生ごみの堆肥化について掲載した。(2月号) 情報提供回数 H23 ⇒ H24 ⇒ H25 0回 0回 1回 ・生ごみ処理機購入補助金制度の周知と補助金の交付 補助件数 H23 ⇒ H24 ⇒ H25 28件 24件 19件 交付額 406千円 357千円 282千円
② 簡易生ごみ処理の普及促進	簡易生ごみ処理普及委託事業で削減された生ごみ量および委託団体の会員数を指標とし、その推移を報告する。 H23 ⇒ H24 ⇒ H25 委託団体数 3件 3件 2件 会員世帯数 169世帯 185世帯 95世帯 生ごみ削減量 24.7トン 27.0トン 13.9トン $\text{生ごみ削減量} = 1人1日あたりの生ごみ排出量原単位 \times \text{会員世帯数} \times \text{平均世帯人口}(2.5人) \times 365日$ 1人1日あたりの生ごみ排出量原単位 160g ※ただし、本事業を実施する生ごみ減量に意欲のある世帯での原単位 ◆100名の会員を有した団体が、年度途中で解散となったため、実績にはその世帯数を計上していないが、解散後も会員は家庭での生ごみ処理を継続するとのことであったことから、その世帯も含めると平成25年度の生ごみ削減実績は、28.5トンである。
③ 市民や事業者と連携した堆肥の利用先確保	取り組んだ内容について報告する。 ・簡易生ごみ処理普及事業を委託している団体と協働し、利用先の確保に取り組んだ。 確保が出来た際は、利用先数を指標とし、その推移を報告する。 利用先数 H23 ⇒ H24 ⇒ H25 0件 0件 1件

減量化・資源化施策	報告の内容
(3)「草木・剪定枝・流木など」資源化の推進	
①草木・剪定枝・流木などの資源化にかかる調査・研究	調査・研究した内容について報告する。 <ul style="list-style-type: none"> ・流木を資源として搬出できる市内事業所を確保 ・草木・剪定枝をRPFとして資源化できる事業所を調査している。